

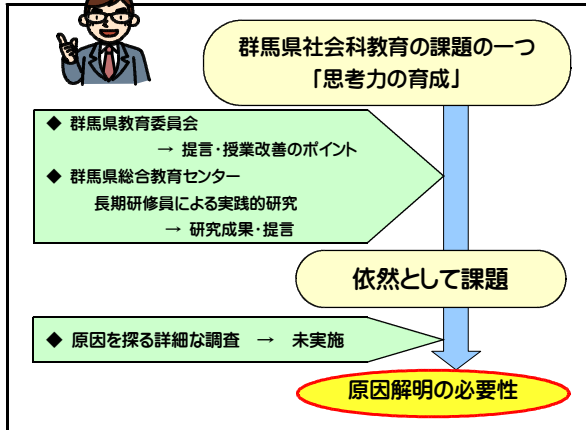
(概要版)

# 中学校社会科における「思考力」の育成にかかわる調査研究

— 指導の実態と教員の意識の分析を通して —

長期研修員 提橋 浩二

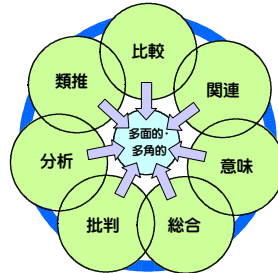
## 研究の背景は？



## 中学校社会科において育成する思考力とは？

- ◆ **比較** (事象や資料を比較して考える力)
- ◆ **関連** (事象や資料を関連させて考える力)
- ◆ **意味** (事象の意味・意義や特色を考える力)
- ◆ **総合** (事象の意味・意義や特色についての自分の考えを深め、広げたり、総合・統合させたりして考える力)
- ◆ **批判** (話し合いや討論を通じて、自他の考えについて価値判断し、批判的に考える力)
- ◆ **分析** (追究や考察に必要な情報を取り出したり、共通点や相違点を見いだしたりするなど、事象について分析的に考える力)
- ◆ **類推** (既習事項や生活体験などを基に、事象の意味や特色などを推測して考える力)
- ◆ **多面的・多角的** (様々な側面をもっている事象について、いろいろな視点や立場から考える力)

～『中学校学習指導要領解説』社会編より～

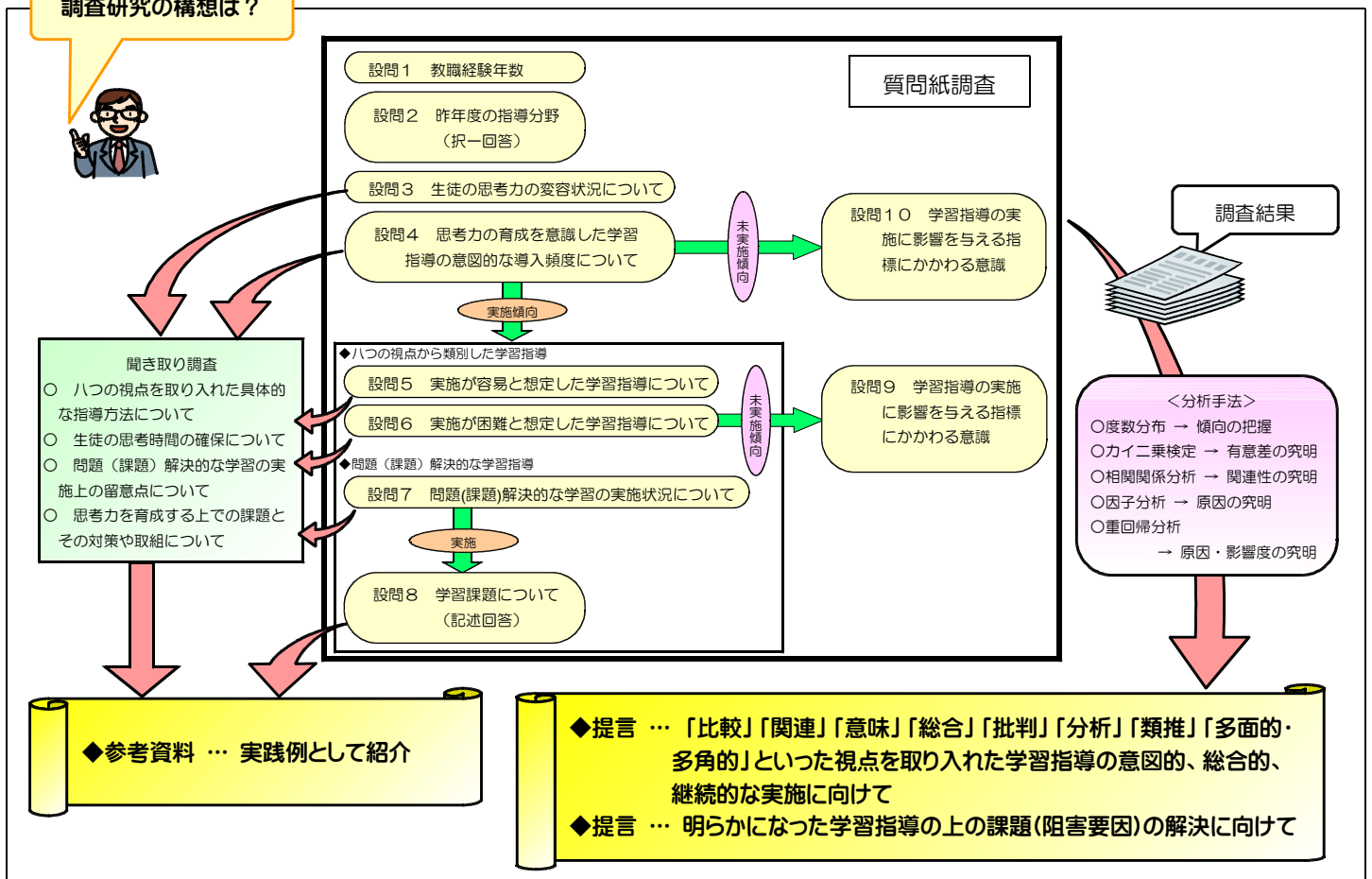


「比較」「関連」「総合」などの考える力は、お互いにかかり合いながら存在しています。そして、これらの考える力を基にして、事象について「多面的・多角的」に考えることが可能になります。

## 研究の目的は？

中学校社会科における思考力の育成にかかわる学習指導の実態と教員の意識について調査し、思考力の高まりと学習指導との関連、及び学習指導の実施に影響を与えている阻害要因を分析する。そして、その結果を基に、今後、思考力を育成するための学習指導に取り組む上での留意点を提言する。

## 調査研究の構想は？



調査結果

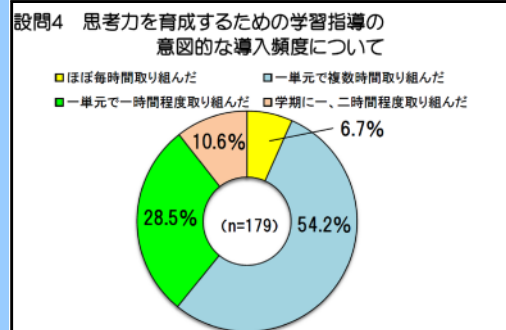
- <分析手法>
- 度数分布 → 傾向の把握
  - カイ二乗検定 → 有意差の究明
  - 相関関係分析 → 関連性の究明
  - 因子分析 → 原因の究明
  - 重回帰分析 → 原因・影響度の究明

◆参考資料 … 実践例として紹介

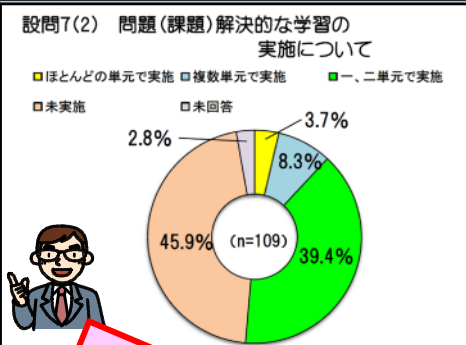
- ◆提言 … 「比較」「関連」「意味」「総合」「批判」「分析」「類推」「多面的・多角的」といった視点を取り入れた学習指導の意図的、総合的、継続的な実施に向けて
- ◆提言 … 明らかになった学習指導の上の課題(阻害要因)の解決に向けて

## 学習指導の実態

### 意図的な学習指導の導入状況

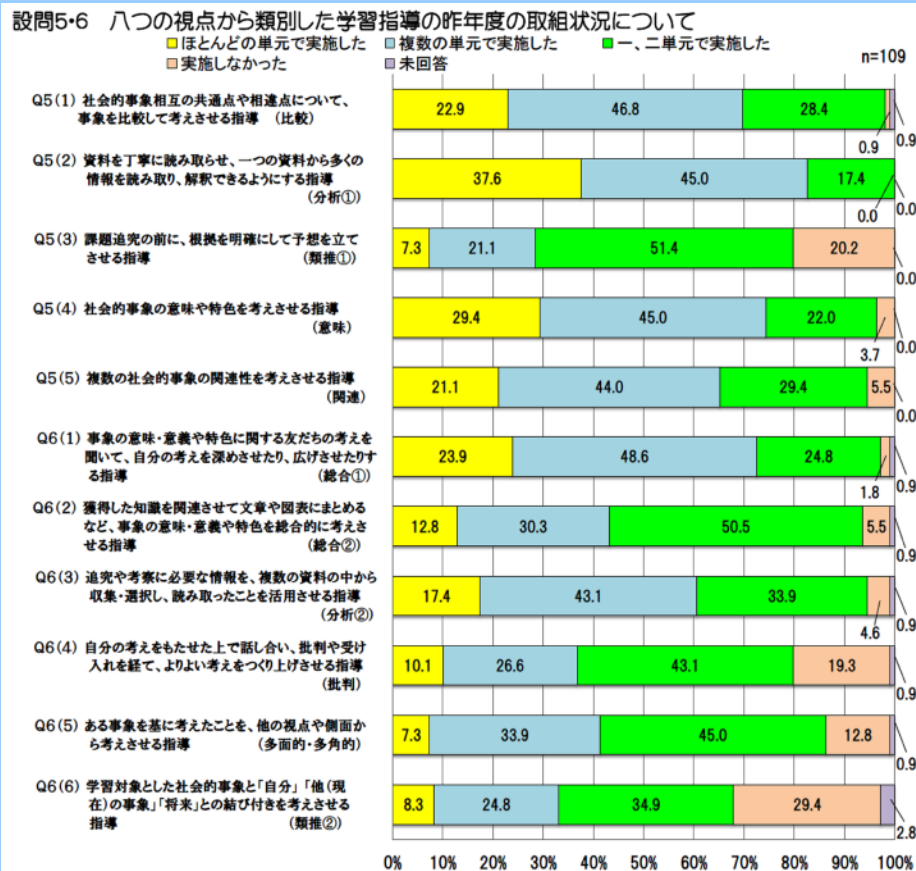


### 問題(課題)解決的な学習の実施状況



単元を貫いた学習課題を設定して、単元のまとめでそれを解決する問題(課題)解決的な学習は、あまり実施されていない。

### 八つの視点から類別した学習指導の実施状況



八つの視点から類別した学習指導の実施には偏りがあり、「批判」「総合」「多面的・多角的」の視点を取り入れた学習指導の実施は少なく、取組は教員一人一人の意識によるところが大きい。統計学的に、類推②の視点を取り入れた学習指導の実施は、公民的分野において有意に多い。八つの視点から類別した学習指導の実施には相関が認められるものがある。

## 思考力の向上と学習指導とのかかわり

統計学的に…

- 思考力の育成を意識した学習指導を意図的に導入するほど、思考力が高まっている。
- 八つの視点を取り入れた学習指導を総合的・継続的に実施するほど、思考力が高まっている。
- 問題(課題)解決的な学習を複数単元で実施するほど、思考力が高まっている。

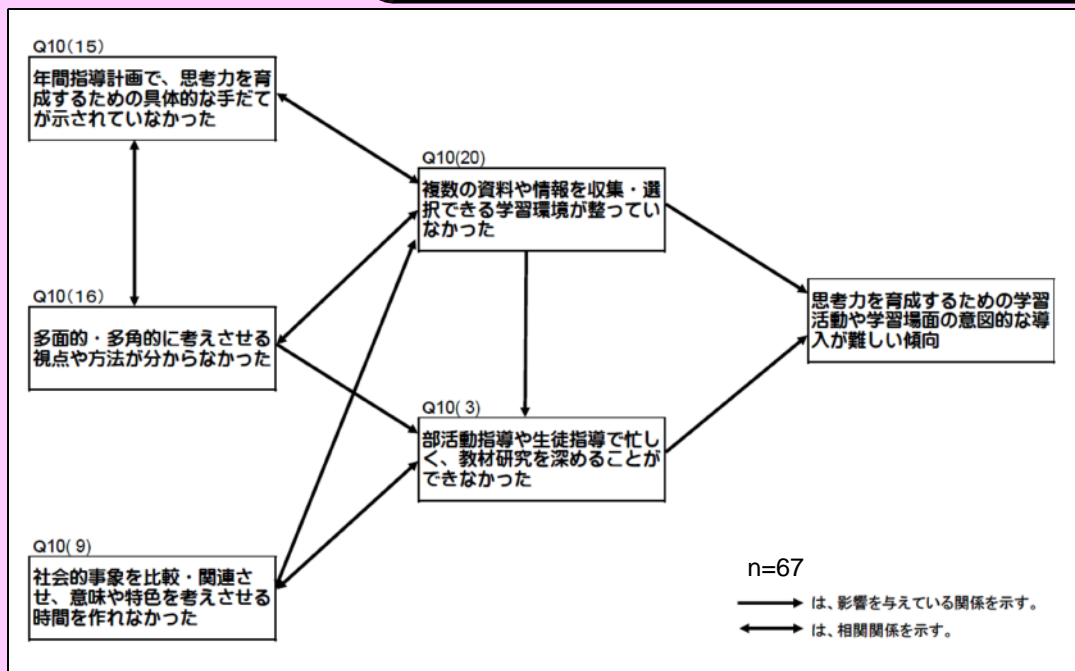
中学校社会科において思考力を育成するためには、「比較」「関連」「意味」「総合」「批判」「分析」「類推」「多面的・多角的」といった八つの考える視点を取り入れた学習指導を意図的、総合的、継続的に行う必要があります。

思考力育成の課題として指摘される原因の追及

## 調査・分析・考察

### 思考力の育成にかかわる学習指導の実施を阻害している要因(意識)

#### 学習指導の意図的な導入の阻害要因

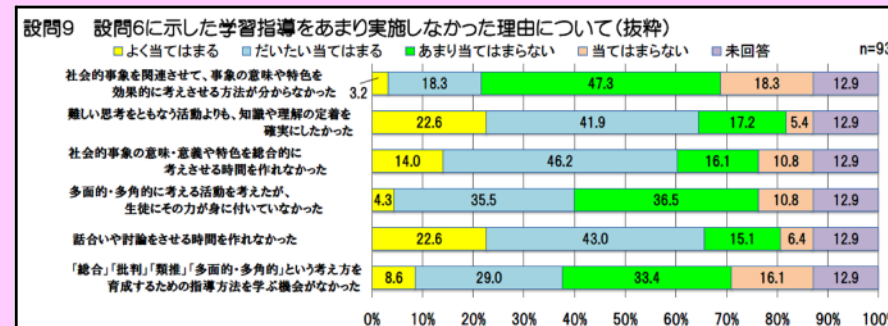


- ① 複数の資料や情報を収集・選択できる学習環境が整っていないという意識。
- ② 部活動指導や生徒指導で忙しく、教材研究を深めることができないという意識。
- ③ ①と②に影響を与えている、「年間指導計画への具体的な手だての未掲載」「多面的・多角的に考えさせる視点や方法が不明」「比較・関連させ、意味や特色を考えさせる時間不足」という意識。

中学校社会科において思考力を育成するためには、これらの阻害要因(意識)の影響を取り除く必要があります。

#### 困難と想定した学習指導の実施阻害要因

- ① 生徒の思考時間を作ることができないという意識。
- ② 多面的・多角的に考察させる指導方法の知識が不足しているという意識。
- ③ 生徒の実態を優先しているという意識。



提言へ

## 思考力の育成に向けた4つの提言

実態に即した思考活動を繰り返し実施するとともに、未実施傾向にある視点を取り入れた学習指導や、学習指導の取組に相関がある「比較」「分析」「類推」「意味」「関連」「総合」「多面的・多角的」の各視点を取り入れた学習指導を意識的に取り入れましょう。

問題(課題) 解決的な学習を、各分野とも学期に一単元以上取り入れましょう。

指導内容を精選し、思考活動や思考場面を意図的に取り入れた単元設計や授業設計に努め、発問、教材、学習活動の工夫を心がけ、生徒が短時間でも思考する体験を積み重ねられるようにしましょう。

積極的に先行研究を学んだり研修講座や公開授業に参加したり、授業公開したりしましょう。

### 学校組織などにおける取組の改善と充実

八つの視点を取り入れた学習指導の  
意図的、総合的、継続的な実施のために

→ 「どの分野のどの単元で、どの視点を取り入れ、どのような学習活動を」という観点から三年間を見通した計画づくり

指導方法に関する知識や理解を深め、授業で活用するために

→ 年間指導計画への具体的な手だての掲載  
→ 教科主任会や校内部会における思考力育成にかかわる研修機会の設定  
→ 校外研修に積極的に参加できるような学校の社会的風土の向上  
→ 教育行政施設における、本調査研究の分析結果を基にした研修機会の提供

学習指導の意図的な導入を阻害する要因の一つである  
「学習環境が未整備」という意識を取り除くために

→ 新学習指導要領の完全実施前に地図などの資料の拡充  
→ 個人で所有している資料の共有化

問い合わせ先

群馬県総合教育センター  
担当係：高校教育研究係

0270-26-9214 (直通)